

# 投資者(株主含む)との対話の推進について

## IR・SR活動の基本方針

当社は、当社経営への信頼と適正な評価を得ること及び持続的な成長と中長期的な企業価値向上を目的としたIR・SR活動に積極的に取り組むことを基本方針としており、投資者が投資判断に必要な経営情報を適時・適切に開示すると共に、株主・投資家と対話できる環境作りに積極的に取り組み、資本市場における信頼の確保に努めてまいります。

## 2024年3月期 株主・投資家との対話の実施状況

### 1. 対話した株主・投資家概要及び対話の主な対応者について

当社は、経営企画部IR室長をIR事務連絡責任者と定めて、同部IR室が積極的なIR・SR活動を行っております。なお、経営陣幹部・取締役への面談要望に対しては、IR室長が、上記目的に資するかどうかを判断し、経営陣幹部・取締役は積極的に応じることを原則としております。

#### 〈2024年3月期の実施状況〉

	対話した株主・投資家		主な対応者
決算説明会	国内外機関投資家	ファンドマネージャー	代表取締役社長執行役員
		アナリスト	取締役 CFO
	セルサイドアナリスト		執行役員経営企画部長
IR 個別ミーティング	国内外機関投資家	ファンドマネージャー	経営企画部 IR 室長
		アナリスト	
	セルサイドアナリスト		
SR 個別ミーティング	国内外機関投資家	議決権行使担当	代表取締役社長執行役員他、
		ESG 担当	社外取締役を含む全取締役 執行役員経営企画部長
会社説明会	個人投資家		代表取締役社長執行役員 経営企画部 IR 室長

### 2. 対話の主なテーマについて

対話の主なテーマや株主の関心事項

経営戦略	中期経営方針2022の進捗
	RFID(電子タグ)取付による費用発生とその効果
	各セグメント(訪販グループ、フードグループ、その他(海外))の成長戦略と進捗
	株式を取得した会社との提携推進状況についての確認
個別事業	各事業の需要動向と環境の変化に対する対応
	物価高騰に対する価格転嫁の状況
財務戦略	株価と資本コストを意識した経営について(ROEの目標設定等)
	株主還元方針について
ガバナンス・その他	政策保有株式に対する考え方、削減状況
	報酬制度(業績連動)について
	スキル・マトリックス特定と活用について
	サステナビリティへの取組み、開示状況、サステナビリティ委員会のメンバー構成について

### 3. 取締役会へのフィードバック

IR・SR活動の中で得た情報や市場の評価・意見については、年2回取締役会に対して定期報告を行う他、必要に応じて、IR 担当執行役員から取締役会に報告後、経営に反映することとしております。

### 4. 経営に取り入れた事項

- ・監査役を含む、取締役会メンバー全員のスキル・マトリックスを作成(2024年6月開催招集通知に記載)
- ・すでに公表しているダスキン環境目標2030に加え、環境ビジョン2050プロジェクトを発足
- ・サステナビリティ委員会構成メンバーのうち監査役をオブザーバーに変更

以上